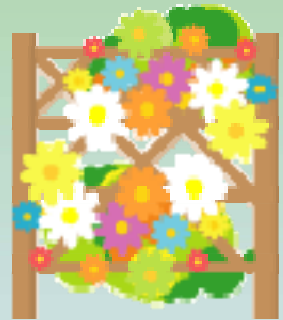


訪問歯科診療 と 口腔ケア



お口の健康と、素敵な笑顔のために

よしはら歯科
Yoshihara Dental Clinic

訪問歯科診療では、次のようなことを行います。

＜1＞ 毎日の口腔ケアの指導・説明と専門的な口腔ケア

口の汚れは、肺炎などの命にかかわる感染症を引き起こします。（図1）

介護をする人による、介護の必要な高齢者への日々の口腔ケア（口の清掃）は、このような感染症の予防に確実な効果を上げると言われています。（図2、3）

訪問歯科診療では、誰でも安全かつ簡単で、効果的な口腔ケアの方法をご説明し、またそれだけでは対処できない部分のケアを歯科医師や歯科衛生士が専門的に行うことにより、介護の必要な方の健康管理に大きく貢献します。



＜図1＞

介護の必要な方の口の中



＜図2＞

歯間ブラシによる清掃



＜図3＞

電動ブラシによる清掃

<2> 入れ歯の作製、修理。 入れ歯の管理方法のアドバイス

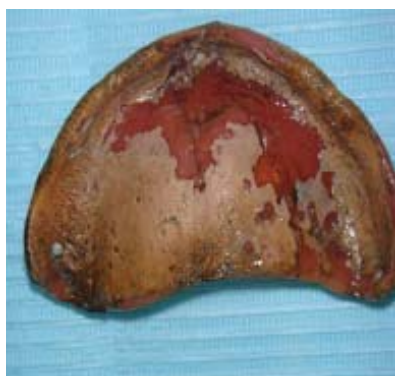
介護の必要な方のほとんどは、入れ歯（義歯）を使って食事をされています。

合わない入れ歯をそのまま使用していると、ものを噛んだときに痛いだけでなく、歯ぐきに傷が出来て食べづらくなり食欲低下、栄養不良の原因になることがあります。



<図1>

壊れて欠けた 入れ歯



<図2> 不潔な入れ歯

訪問歯科診療では、歯科医院に通うことができない方の入れ歯の修理や調整、場合によっては、新しい入れ歯作りを行います。

また入れ歯のメンテナンスを正しく行うことにより、入れ歯を清潔に使っていただけ、このことも口からの感染予防になります。

正しい入れ歯のメンテナンスの方法を説明・指導することも歯科医師の大事な役割なのです。

<3> むし歯の処置、歯髄処置

むし歯によって歯が欠けたり、歯の神経に痛みがでると、食欲不振、栄養不良などの問題がおこってきます。

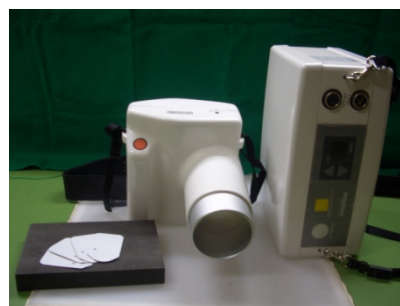
(図1)



<図1>
虫歯で欠けている歯



移動式の治療器具



ポータブルレントゲン写真

訪問歯科診療では持ち運びの出来る治療装置を用いて歯科診療室の設備をそのまま訪問先で再現し、歯の治療を行います。



訪問先での治療風景

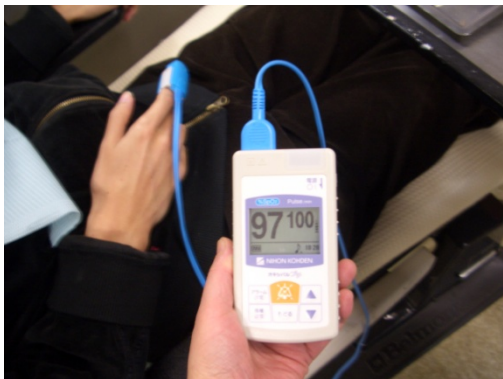
<4> 抜歯

介護の必要な人の口の中には、進行したむし歯のために歯がボロボロになっていたり（図1）重度の歯周病によってグラグラになっている歯が、そのまま放置されていることも多く見られます。



<図1>

歯の根っこだけが残っていて、はぐきが腫れています。



抜歯などを行うときには、体の調子を確認しながら行います。

このような歯の抜歯を行うことも訪問歯科診療での重要な治療の一つです。

このような歯をそのまま放置しておく、膿んで腫れたり、また何かの拍子に抜けてしまい、誤って飲み込んでしまう原因となることも考えられます。



<5> 摂食・嚥下機能の評価と リハビリテーション

介護の必要な方の中には、ものを食べたり飲み込んだりする機能が低下している方もおられ、そういう方は、食事の時のムセや誤嚥(食べ物や水分が誤って気管に入ってしまうこと)が起こりやすく、そのため食事を十分にとることが出来ない場合があります。

また、口の中の汚れや食べ物、飲み物が気管に入ると、肺炎の原因になります。

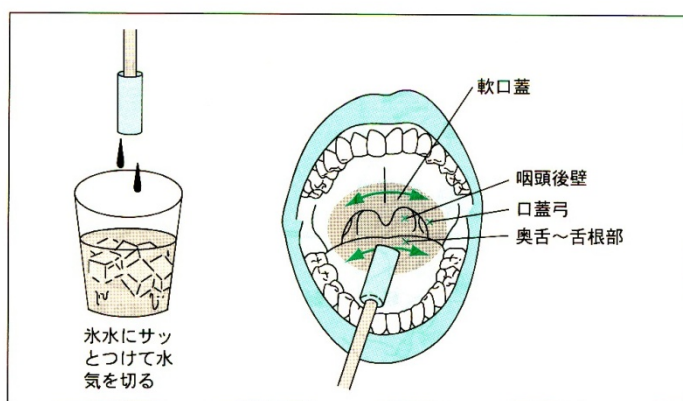


図 6-2 のどのアイスマッサージ



チューブによる栄養

訪問歯科診療では、このような方について飲み込みに関わる機能の評価を行い、その方に合った食べ方や食べ物食べたり飲み込んだりすることに関係する筋肉や、舌などのリハビリテーションを行い、不自由なく食事ができる環境づくりのお手伝いをしていきます。

食事がとれない方でも口腔ケアと合わせてリハビリテーションをおこなうことにより肺炎の予防に役立ちます。

訪問歯科診療の実際

※ 食事を口からしてなくても、入れ歯が必要な場合があります！

82歳女性。認知症、統合失調症により、経管栄養（チューブによる栄養）の状態です。「残っている歯で唇に傷ができるので見てほしい」との病院からの依頼で訪問歯科診療を開始しました。



<診察開始時>

下顎に全く歯がなく入れ歯も装着していないため、無意識のうちに、下の唇が上の犬歯の下にもぐりこんでしまい、そのために下の唇の両側に傷ができ、血が出ています。

急きょ入れ歯を作製し、下顎に入れ歯を入れました。

入れ歯があることにより下の唇が前に出て、また、上顎の犬歯が下の入れ歯とかみ合うため、下唇を噛まなくなりました。



<入れ歯を入れました>



「訪問歯科診療の費用について」



医療保険の適応になります。

- ① 後期高齢者の方
75歳以上の方
65歳以上で広域連合から障害認定を受けた方
⇒ 定率1割自己負担（現役並所得者の方は3割自己負担）
- ② 前期高齢者の方（65歳から74歳の方）
65歳から69歳までの方は、お持ちの保険証に準じて自己負担
70歳から74歳までの方は、2割もしくは3割自己負担
- ③ 障害者・生活保護の方
各市町村の減免と同じ取り扱いです。
- ④ 一般の方
一般の医療保険の自己負担と同じ取り扱いです。

介護保険の適応になります。



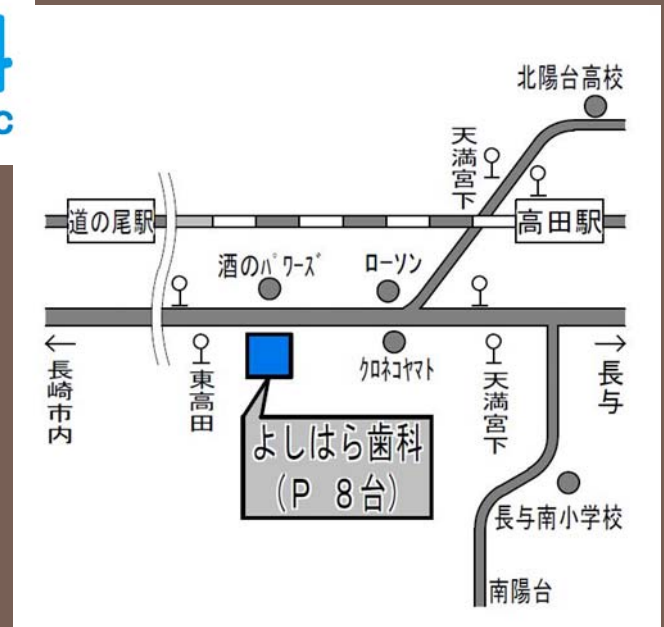
- ① 歯科医師によるもの
1回 500円
- ② 歯科衛生士によるもの
居宅の方は、1回350円（月4回まで）
居住系施設入居者等の方は、1回300円（月4回まで）
居住系施設とは、養護老人ホーム、軽費老人ホーム、有料老人ホーム、高齢者専用賃貸住宅、小規模多機能型居宅介護、認知症対応型共同生活介護（グループホーム）

- 料金、治療期間などは、お口の状態によって異なります。
ご不安な方は、歯科医師にお気軽にお尋ねください
- 医療保険と介護保険の自己負担が、同一訪問時に同時に発生する場合があります。

お口の健康と、素敵な笑顔のために



よしはら歯科
Yoshihara Dental Clinic



よしはら歯科

院長

吉原 右

〒 851-2127

西彼杵郡長与町高田郷3161-10

TEL 095- 883-7745

URL <http://yoshihara-dc.com>

E-mail info@yoshihara-dc.com

東高田バス停そば
駐車場完備(8台)